

第5回女性活躍100人会議（8月20日 松江市）

でいただいたご意見に対する県の対応

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
<p>保育園では朝早くから子どもを預かってもらえたが、小学校1年生になって学童保育になると、8時からしか開いていない場合は、子どもをその玄関に置いて仕事に行かなければならない。</p>	<p>来年度から、新たに、放課後児童クラブの開所時間を平日の19時まで延長し、また、夏休み等の長期休業中は7時30分以前からクラブを開所するために必要な人件費等を支援します。</p>
<p>育児と仕事の両立について、男性の休業等の制度があっても、利用しづらい状況がある。男性がもっと子育てのできる環境、夫婦そろって育児と仕事の両立ができる環境を望みたい。</p>	<p>来年度から、新たに、「時間単位の有給休暇制度」や「短時間勤務制度」の導入など子育てしやすい職場環境づくりに取り組む中小・小規模事業者等に奨励金を支給し、男女ともに育児と仕事の両立ができる職場環境づくりを支援していきます。</p> <p>加えて、男性も女性も働き続けやすい職場環境づくりを進めるため、経営者や管理職等を対象としてワーク・ライフ・バランス等をテーマとしたセミナー等の開催や、地域における固定的役割分担意識の解消に向け、市町村や地域の男女共同参画サポーター等との協働による講座等を引き続き実施してまいります。</p> <p>また、育児手帳や家事手帳を配付することにより、男性の家事・育児参加を促進してまいります。</p>
<p>非婚など家族のサポートを受けられない母親や、日本で子どもを産み育てる外国の方が増えていると感じる。</p>	<p>来年度から、ワンストップ型相談窓口の相談員を増員するほか、専門家（弁護士・精神科医）との連携、医療通訳の養成・確保を行い、外国人住民の生活相談体制をさらに強化していきます。</p> <p>また、関係部署とも連携し、様々な支援が必要な子どもや親に対する支援の充実について検討していきます。</p>
<p>産後ケアに県全体で取り組むべき。県東部は支援が少ないので、県全体で利用できる産後ケアステーションのようなシステムがあればよい。</p>	<p>来年度から新たに、市町村における産前・産後の一時的な育児・家事援助や産後の専門的なケアの充実を支援していきます。</p>
<p>保育士、幼稚園教諭の処遇改善を望む。仕事量や質に給料が見合っていないと感じる。潜在保育士が働きたくなる環境になるよう処遇改善が必要。</p>	<p>来年度から新たに、保育所等の管理職等を対象とした働き方改革に関するセミナーを実施し、保育所等の労働環境改善を支援していきます。</p> <p>今後、県の財政状況を踏まえ、何ができるか検討していきます。</p>
<p>子どもを産みたい人を支援する制度の充実、経済的負担の軽減など、県としての支援制度の充実があればよい。</p>	<p>来年度から第1子出生後の特定不妊治療に対する助成回数等を拡充します。</p> <p>また、令和3年度から子どもの医療費助成の助成対象を小学6年生まで引き上げ、県内どこでも小学6年生まで助成が受けられる環境づくりを進めます。</p>
<p>放課後児童クラブの指導員の処遇を改善してほしい。指導員を確保するため、朝から開所し、朝は待機児童を受け入れ、午後から小学生を見るようなシステムにして、給料制としてはどうか。</p>	<p>来年度から、新たに、放課後児童支援スーパーバイザーがクラブを巡回し、クラブ運営や児童への対処方法、人員配置や人材確保への相談に乗り助言することで、職場環境を改善し、支援員の確保を推進してまいります。</p>

<p>学童や保育など、対象者や事業者を色々な形でつなげる仕組みを、持田公民館の「寺子屋事業」を参考に分析して、地域で連携することで補い合うことができないか考えてもらいたい。</p>	<p>来年度から、新たに、放課後児童支援スーパーバイザーにより、先行的な取組事例などを紹介していきます。</p>
--	--

## 2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>縁結び事業では、単に出会いの場をセットするのではなく、メンタルのケアが必要と感じている。</p>	<p>しまね縁結びサポートセンター等による相談に、専門家の助言を取り入れていきます。</p>

## 3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>意思決定機関における女性の参画率は向上しているが、専門委員会や小委員会などにおいて具体的に進めていく中では弱いと感じる。現場の意識向上や組織におけるリーダーの意識が重要。</p>	<p>女性一人ひとりが社会のあらゆる分野で活躍するためには、意思決定機関における女性の参画とともに、職場においては女性のキャリアアップ等に対する経営者の意識改革・行動改革理解が必要です。</p> <p>このため県では、経営者や管理職等を対象としたセミナー等を開催しています。</p> <p>また、女性自身の意識向上を図る取組として、働く女性を対象としたスキルアップのためのセミナー等を開催しています。</p> <p>今後もこうした取組を経済団体や市町村、しまね女性センター等と協力して行ってまいります。</p>
<p>女性活躍が叫ばれる一方で、結婚や出産に対するプレッシャーがある。個人の多様な生き方を尊重することで、島根県の魅力が向上する。</p>	<p>女性一人ひとりがあらゆる分野で活躍することができるための取組のひとつとして、若い世代が将来設計において男女の区別なく個性と能力を発揮し、多様なライフキャリアを考え、選択することができるためのセミナー等を大学生等を対象に開催しています。</p> <p>今後も、女性の多様な生き方を認め合う社会の実現のため、地域において男女共同参画推進のための講座等を通じ、普及・啓発してまいります。</p>
<p>子育てする上で島根の豊かな自然は、UIターンの方にも訴求力を持つので、子育てのしやすさをPRしていただきたい。</p>	<p>インターネットやUIターンフェアなどのイベントで、島根の豊かな自然をはじめ、子育て環境に関する情報提供をしています。</p> <p>また、島根での子育ての魅力を十分にお伝えできるよう、結婚・妊娠・出産・子育て総合ポータルサイトをリニューアルする予定です。</p> <p>今後も子育て支援の取組について周知を図るとともに、Iターンされた方の感想や事例を引き続き広く紹介し、移住希望者のニーズに応じた情報発信となるよう工夫してまいります。</p>
<p>島根県内にたくさんいる元気な高齢者を、どうやって活用するか考えていけばよい。</p>	<p>高齢者の働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や健康維持、地域社会への貢献を推進するシルバー人材センターの活動を支援しています。</p> <p>また、再就職を希望する中高年齢者向けの就職相談窓口も設置しています。</p> <p>今後も高齢者の活躍の場が広がるよう、こうした取組の周知を図っていきます。</p> <p>併せて、高齢者大学校を見直しし、高齢者と地域活動を繋ぐ仕組みを構築します。</p>

#### 4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただきご意見

- ・県職員にも助産師を採用できないか。
- ・シングルマザーにとって、県や市の制度があっても窓口に行かなければならないなど実態として利用し難い。ファミリーサポートセンター事業がシングルマザーは半額で受けられるような制度があるとよい。
- ・学童のことで相談したくても、どこに相談してよいか分からない。
- ・中小零細企業の現場の声、小規模な労働組合の意見など聞いて、現場の実態を把握する環境を整えて欲しい。
- ・県内の色々な世代の方がコミュニケーションを取れる環境を整えて欲しい。
- ・出雲大社の周辺に市や県が管理する無料の駐車場があるが、これを有料化して子育て支援の財源に充てることはできないか。
- ・出雲縁結び空港の駐車場は無料だが、有料化して子育て支援の財源に充てることはできないか。

#### 5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

※ なし